

第83回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年8月4日(水) 9:27~10:40	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、穂山地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染拡大の防止について 2 集団接種について 3 各部連絡事項 			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等 ・建設現場における熱中症予防と新型コロナウイルス感染防止 ・集団接種の再開について 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染者は東京都内も市内も7月中旬以降、急増している。 ・市内の累計感染者は1292名であり、極めて深刻な状況にあるため、人流抑制に止めなければならない。 ・感染者の増加により市内の医療機関は逼迫している。 ・医療機関の逼迫により自宅療養者の数も増え、都内においては約1万人が自宅で療養している。 ・その一方で、ワクチン接種をした65歳以上がほとんど感染していない。全力でワクチン接種を進める必要がある。 ・防災行政無線は、市長の声で録音し、毎日市民に呼びかけを行っている。私自身、7月30日に2回目のワクチン接種が完了した。その模様は市民への呼びかけとともに、動画で配信している。 ・ワクチン接種について、今後は個別接種の数を減らす一方で、大規模接種会場に加えて、8月11日から保健センターでの集団接種を再開する。 ・9月22日から10月31日は、宮地楽器ホールでの1階部分を活用しワクチン接種を行う予定である。この期間、宮地楽器ホールを既に予約をしている人もいるため、補償に当たり補助金等を最大限活用していきたい。 ・10月末までに、12~64歳の市民の接種率を80%に到達させることを目標に、全力を尽くす。 ・また、市長から市職員への要請として、執務時間内は不織布マスクの着用に努めていただきたい。理由としては、感染力の強いデルタ株がまん延していることから、より効果の高い不織布マスクが感染予防に効果的であり、小金井市医師会も推奨しているためである。 				

- ・感染者が増えたことで、PCR検査への需要も高まっていることから、PCR検査センターへの搬送車を1台から3台に増やして運用している。
- ・また、感染者が増えたことで自宅療養者への支援のニーズが高まっていることから、必要な人へ確実に届けられるよう努めていく。
- ・コロナワクチンガイドブックが出来上がった。有用な情報が記載されているため活用していきたい。

1 感染拡大の防止について

(生涯学習部長)

緊急事態宣言の延長により、東京都から別紙のとおり「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等」が、7月30日付けで発出されている。主な内容はこれまでと変わらないが、新たに「外出する必要がある場合、家族や普段行動を共にしている友人等少人数にする」という文言が追加されている。市の施設についても、緊急事態宣言延長に伴い利用制限を延長することになる。今後の感染拡大の動向を注視し、施設の利用について更に制限を増やすべきか、次の会議まで方針を決めて報告したい。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

マスクの機能の比較について。昨年は、マスクの効果は限定的であるという見方が主流であったが、別添の資料では、夏場の熱中症対策など、マスクの機能に応じた使い分けについて掲載されている。不織布マスクを極力使用して業務に当たる方がよいが、呼吸しづらいなどのデメリットもあるため、冷房がないところでは、適宜マスクを外すなどの労安上の配慮も必要。

(総務部長)

職員向けの通知の中で、緊急事態宣言延長の際には、通知の内容が延長される旨の記載がある。7月30日付けの「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等」において4つの項目が加えられているところだが、類似する項目がすでに職員向けの通知に記載されているため、緊急事態宣言が終了するまで通知の内容を生かしていく。

ヤフーニュース等では、船橋市の子育て支援部門においてクラスターが発生したため、受付業務を休止し郵送等で対応しているという記事が出ている。デルタ株の感染力の強さから、今後どここの自治体でもクラスターは起こりうる。引き続き、職場内での感染が起きないように、感染予防について徹底をお願いしたい。

(市長)

18日の本部会議までに、緊急で決定する事項等がある場合はLINE等でお知らせする。

(総務部長)

東京都から新たな資料が出た場合、理事者一任で職員に対して通知する。陽性者が出た場合

の対応なども柔軟に行っていくため、理事者一任でお願いしたい。

(環境部長)

職員への不織布マスクの使用について職員にどのように周知するか。

(総務部長)

お願いという形で周知の方法を考えたい。

(環境部長)

8月6日に労働安全衛生委員会があるため、例えば、労安の委員長名で発出する方法もある。

(企画政策課長)

感染者数が大幅に拡大していることを念頭に、不要な会議の中止、WEBによる会議の実施などをご検討いただきたい。また、ワークショップ等についても、慎重なご判断をお願いしたい。本案件に関する4月21日付けの通知を、本日Cナビに再掲載する。くれぐれも会議等が感染源にならないようご注意願いたい。

(福祉保健部長)

市長名で、不織布マスクの着用についての通知を出すと、不織布マスクによって呼吸が困難になる職員も出てくるため、推奨の仕方は注意する必要がある。

また、本部長名と市長名の違いだが、市長名の場合、職員に対する発令、本部長の場合、外部にも対象範囲が広がる。できれば、健康上の理由で息苦しさをを感じる人を配慮しつつ、市長名で発動をかける。

(総務部長)

マスクかぶれの職員の話も聞いているため、一定の配慮をしつつ、職員に対して着用をお願いをする。

(市長)

窓口職場などでの着用状況はどうなっているか。

(市民部長)

市民課の窓口は15～16名の職員がおり、不織布マスクの推奨はこれまではしてこなかったが、正式にお願いをすれば応じてくれるはず。

(市長)

義務ではなく要請と言う形で、指定管理者について周知するのがよいのでは。

(市民部長)

市長がこのような通知を出している、という情報提供を行い、ご協力をお願いすることはできる。

(福祉保健部長)

外部団体への要請について、市長名が発せられた場合には市と同じ趣旨で対応していくのでよいのでは。

(教育長)

各学校の先生には、感染拡大防止の観点からマスクの性能を見極めて適切に対応する旨の通知を出そうと思う。

2 集団接種について

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

10月末までに接種対象者の80%以上が接種を完了させることを目標に、大規模接種会場と並走して集団接種会場での接種を再開する。

期間は、保健センターが8月11日から9月19日まで、宮地楽器ホールは9月22日から10月31日までとなっている。

宮地楽器ホールでは、1階のフロアを利用して接種会場を設置する。

個別接種について、現在50の医療機関で接種を行っているが、集団接種会場の充実化のため、10の医療機関に限定して行っていく。

なお、集団接種会場で使用するワクチンはファイザーである。

大規模接種会場における職員のキャンセル対応について、廃棄のワクチンを最小限に抑えられている一方、市民のキャンセルも増加しており職員のキャンセル対応も限界が見えてきている。各部でどれだけ職員を出せるか情報を提供してほしい。

(生涯学習部長)

8月8日までのキャンセル対応については既にリストが提出されているが、それ以外にも職員を出すということか？

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

前回の接種においても、キャンセル対応リストだけでは人が足りなかった。それ以外にも、接種してよいという職員の情報があればご提供いただきたい。

(子ども家庭部長)

保育園職員の場合、平日は難しいため、土日にキャンセル対応となるが、接種の連絡がくるのが午後4時くらいだと、予め大規模接種会場の周辺で待機しなくてはならない。

先ほど話に出た希望性による接種がいつから始まるのか早めに教えてほしい。

(総務部長)

キャンセル対応について、総務部においては平日であれば、地元の自治体で接種の予約が取れない職員もいるが、次の8月8日(日)は、対応できる職員が既になく。土日は、接種の連絡が来たらすぐに駆け付ける必要があるため、現場の近くに住んでいる職員が望ましい。平日と土日で対応できる職員の属性を見極めながら名簿を作るとよいのでは。

(子ども家庭部長)

8月11日から始まる保健センターのキャンセル対応はどのようになるか？

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

保健センターはファイザー社製ワクチンで、ファイザーについては市民も関心が高いため、

初期の段階では市民のキャンセル待ちリストのみで対応できると見込んでいる。

なお、保健センターは8月9日に予約開始を予定している。それ以前に予約を開始すると、大規模接種会場の予約キャンセルが多く見込まれるため、このようなスケジュールとした。

(市長)

これまでキャンセル対応で接種した職員の数は何人か。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

26名である。

(環境部長)

ごみの収集の委託業者などもキャンセル対応に入れてもらえれば、平日なら接種可能である。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

委託業者の接種については、以前、集団接種会場で案内をしている業者について検討したことがあるが、従事している人間は実際、孫請けにあたる業者のため、非常にハードルが高いとの結論が出た。

ただし、社として接種の協力をしたいという事業者であれば、市の事業者というところで理由付けはできる。

(市民部長)

接種を希望する委託業者がいた場合は、新型コロナウイルス感染症担当課長へ情報提供をすればよいか？

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

まずは、職員のキャンセル待ちを解消してから委託業者等の接種に着手したい。

(市民部長)

宮地楽器ホールでの集団接種について。1階を集団接種会場に使用し、地下と3階の大ホールは芸術文化活動を継続する。一方で1階の小ホールにおいても既にチケットを販売しているような催しもあるため、全ての日程において集団接種会場を設置できるわけではないことをご理解いただきたい。

(市長)

1階のみを集団接種会場とし、地下と大ホールは一般市民が利用するため、動線の確保を十分に配慮したい。

(教育長)

宮地楽器ホールを使えない日は、学校の会議室なども提供するためご相談いただきたい。

(福祉保健部長)

大規模接種会場と集団接種会場については、今の説明のとおりの方針で進めていく。ご了承いただきたい。

キャンセル対応について、次週以降の対応は方針が決まっていないため、今までどおりの予

定でイメージしておいてほしい。

外部業者をキャンセル対応に組み込む案については、現状様々な課題があるため、協議をしながらやっていきたい。

(生涯学習部長)

大規模接種会場は、2回目接種のフェーズに入るがその場合職員のキャンセル対応は不要となるのか？

(福祉保健部長)

2回目接種についてもキャンセルは出ると予想されるため、職員のリザーバーは必要。市民の2回目接種のキャンセルにより、職員が1回目の接種を打つ場合大規模接種会場の最終日までに2回目を接種できない可能性がある。その人たちのため、9月の後半にもう一度接種を行う予定である。

(市長)

東京都のファイザーを使った職域接種も始まる場所である。

日曜日の大規模接種会場は確実にキャンセルが出るため、対応をお願いしたい。

(子ども家庭部長)

8月11日から2か所で接種が始まることで、接種会場に配置される保健師が健康課だけでは足りなくなると、子ども家庭部からも応援を出すのが、応援職員がすぐに対応できる業務なのか教えてほしい。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

後程ご連絡する。

(都市整備部長)

土日接種が可能な職員がいれば、部単位の割り当て日にかかわらず情報提供したほうがよいか。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

お願いしたい。

(福祉保健部長)

職員のキャンセル待ち対応について新しい仕組みができるまではこれまでの対応でいく。新型コロナウイルス感染症担当課長のほうで、平日可能な職員リストと土日可能な職員リストを作成し、後日報告する。

他部からの保健師の応援について、保健センターに加えて宮地楽器ホールでも接種を行うとなると、回せない部分も出てくると思うので、新型コロナウイルス感染症担当課長と子ども家庭部のほうでしっかり協議してほしい。

3 各部連絡事項

(子ども家庭部長)

陽性者の発生による休園状況について。キッズガーデン小金井桜町は8月9日まで、本町学

童と貫井保育園の関係者に陽性が出た。これまでは発生日に保健所から連絡が来たが、感染者急増の状況により、連絡がすぐに来ない現状がある。新型コロナウイルス感染症担当課長への要望として、濃厚接触者を市が特定することはできないため、どのように医療機関に協力を仰ぐか医師会と調整をお願いしたい。濃厚接触者の有無により休園するかの判断を市が行っている。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

保健所の現状として、濃厚接触者のみならず陽性者への連絡も発生から3日後、5日後7日後という話もある。よって、現在保健所は濃厚接触者を特定する余裕がないため、濃厚接触者については保健所のコントロール下でないという認識でいたほうがよい。

(子ども家庭部長)

要するに本部・行政で濃厚接触者を特定するのか。

(市長)

保育園の園医の権限はどうか。

(子ども家庭部長)

濃厚接触者の特定は保健所と医師と聞いている。まずは小金井市医師会に話を通し、その後園医という選択肢もありうると思う。

(環境部長)

ごみの収集業者に1人陽性者が出たため、保健所に濃厚接触者の特定を依頼したところ、一緒に収集作業にあたった職員も含めて濃厚接触者はいないという回答であった。業者が独自で事業所や車の消毒を行った。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

マスクをしていても車の同乗者が濃厚接触者に特定された例もあるため、濃厚接触者の範囲は広く考えたほうがよい。

(議会事務局長)

これまでは、保健所から濃厚接触者本人に連絡がいていたが、その連絡もないということか。要するに職場での状況を見て判断するのか？

(総務部長)

PCR検査をした医師が説明してくれることもある。職場で陽性者が出た場合、まずは消毒を行い、陽性者の勤務状況を見て濃厚接触者の特定を行っている。

また、陽性者の感染経路は、家庭内感染であることが多い。そのような状況が家庭内であるのであれば、出勤させないのがポイントとなってくる。

(生涯学習部長)

栗山公園運動施設で、7月30日(金)に新型コロナウイルスの陽性者が判明した。陽性者は、7月25日(日)にワクチン接種1回目を受け、27日(火)に微熱があったものの、ワクチンの副反応と考え、28日(水)は出勤。29日(木)に発熱したため30日に病院で検査をした結果、陽性が判明した。当該施設の感染リスクを最小限に抑え、利用者及び職員の安

全を守り、保健所の指導に基づき濃厚接触者への対応を行うため、7月31日（土）と8月1日（日）を臨時休館した。陽性者本人は受付業務を担当しており、保健所からの連絡がなかったため、こちらで判断し臨時休館とした。

8月2日（月）の保健所の聞き取りの結果、施設での濃厚接触者はいないとの判断であったため、施設の利用を再開した。

なお、本日まで同施設において職員及びその家族に発熱者はいない。

保健所から濃厚接触者の連絡がない中で、陽性者本人の行動履歴をもってこちらで対応を判断した。

（子ども家庭部長）

先週末までは保健所の動きも早かったが、今週に入って即日の連絡は難しくなっているようだ。先ほど市長から園医という話もあったため、新型コロナウイルス感染症担当課長とも協議しながら対応を決めたい。

（市長）

感染者の増大により保健所も難しいとは思いますが、保健所に相談にのってもらえるよう要望は出したいと思う。

（福祉保健部長）

濃厚接触者の特定について、保健所と連絡が取れない場合は施設が判断するしかない。そうになると、園医に判断を求めるか、その他の方法を考える必要がある。例えば、抗原検査などの結果にエビデンスをもって判断する。それがいない場合は、発症前2日間の行動を調査し判断する。

（市長）

来週の本部会議は開催しないが、感染状況に応じて急きょ開催することもある。